

いすゞ自動車九州(株) 長崎支社



所在地：長崎県長崎市中里町1622-1
敷地面積：約16,319㎡
建築面積：約3,525㎡
延床面積：約4,014㎡
構造・規模：鉄骨造、地上2階建
設計・監理：南飛鳥建築事務所
実施設計：五洋建設九州支店 一級建築士事務所
施工：建築/五洋建設九州支店
電気/株式会社カラ電設
オープン：平成22年5月

S61

サービス工場を併設し、新築オープンしたいすゞ自動車九州(株)長崎支社。
整備工場や事務所の照明にはLEDを採用し、年間消費電力の低減が図られています。

消費電力の削減や工場内の騒音低減、自然換気システムなど環境に配慮した設計

同社は長崎支店と諫早営業所を統合し、長崎多良見I.C.のすぐそばに移転し、平成22年5月に新築オープン。いすゞ製の大型バス、大型・中型・小型トラックの新車及び中古車を中心に販売・運営されており、サービス整備工場も併設。整備工場の外壁は遮音性向上を図り、整備工場の騒音を低減しているのははじめ、工場棟の開口部には自然換気システムを、全ての水栓には定流量節水弁を、照明には省電力のLEDを採用するなど、地球環境にやさしい設備計画となっています。

LEDベースライトスリムストレートタイプを採用し、精密作業に効果的な明るさと省エネを両立

高天井となっている整備工場内は、6.5m間隔で大型、一般車の整備用ピットが配されています。照明はベース照明(NF400W高天井用反射笠器具)のほか、作業灯としてピット間の上部床上約4mの位置に設けられた吊り工具棚の長手2面にLEDベースライトスリムストレートタイプ(明るさ重視タイプ昼白色、消費電力38W、器具光束3,200lm)を1つのピットに対して10台連結にして2列に配列(計20台)し、整備車へ効果的に照射。

連結部の光の途切れがほとんどない連続したライン光で精密作業に適切なあかりの確保と安全性の向上を両立しながら、40WFL蛍光灯ランプとほぼ同等の明るさで年間のランニングコスト比約37%がセーブされ、また、長寿命(40,000時間)により、長期的なコストダウンが期待されています。

オフィス棟においては、エントランスホールと相談コーナーには、LEDベースライトスクエアタイプ(昼光色、消費電力52W)を採用し、先進的なあかりを表出しながら消費電力を抑制しています。また廊下とトイレにはLEDダウンライトを採用し、人感センサーとの連動により、ON/OFF制御でムダなあかりをカットして省エネが図られています。



サービス整備工場の照明 ベース照明のNF400W高天井用反射笠器具のほか、作業灯としてLEDベースライトスリムストレートタイプを吊り工具棚に配置



精密作業を満足した明るさで省エネを両立したLEDラインタイプの照明(大型車整備工場)



整備車のサイドを効率よく、明るく照射するLEDラインタイプによる照明(一般車整備工場)



LEDスクエアタイプを採用したオフィス棟エントランスホール



相談コーナーのLEDスクエアタイプによる照明



LEDダウンライト+人感センサーによる廊下の照明

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
整備工場棟	LEDベースライトスリムストレートタイプ	LEDT-32001W-LD9	152	LED 消費電力: 37W
	高天井用反射笠器具	SN-4044A	61	400W高圧ナトリウムランプ
オフィス棟	LEDベースライトスクエアタイプ	LEDR-45401W-LD9	30	LED 消費電力: 57W
	LEDダウンライト900シリーズ	LEDD-70001W-LS8	6	LED 消費電力: 13.3W